

1 国 語

「国語表現Ⅰ」 (選択科目)	単位数	2 単位
	学科・学年・学級	普通科 第3学年1組～5組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 相手の表現しようとする内容を的確に理解し、コミュニケーションできる能力を養います。 2 自分が表現したい内容を整理し、状況に合わせて的確に表現できるようにします。 3 自分の意見を文章にまとめ、わかりやすく表現する能力を身に付けます。
使用教科書・副教材等	「国語表現Ⅰ改訂版」(教育出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考(学習活動の特記事項,他教科・総合的な学習の時間・特別活動との関連など)	考查範囲
1 学 期	1 表現の楽しみ 日本一短い手紙を書く 絵をことばにする	4	・ 情報を、言葉を使つて的確に表現することができるようにします。	クラスの中で、各自発表したりしま	第1学期中間考査
	2 表現の基礎 自己表現 スピーチの方法	5	・ 自分が伝えたい内容を正確に、わかりやすく相手に話すことができるようにします。		
	1 表現の実践一 コラムを読む コラムを書く 本を作る	6 7	・ 他人の意見をまとめたものを読み、意見のまとめ方について学びます。 ・ 自分の意見を簡潔にまとめることができるようになります。 ・ 自分が書いたものをまとめて一つの作品にします。	第1学期期末考査	
【課題・提出物等】 1 授業の中で使用するプリントやワークシート(全部で10枚程度) 2 単元毎の作品					
【第1学期の評価方法】 1 小テストの成績、プリント・ワークシート、その他提出物および活動の内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。 2 評価の内訳は、小テストの成績、プリント・ワークシート、その他提出物の評価が70%、活動の内容や学習活動への参加の姿勢や態度が、合わせて30%です。					
第 2 学 期	1 表現の実践二 ことば遊びと創作 ことば遊び 広告コピーを作る	9 10	ことば遊びを通じて言語感覚を磨き、語彙を増やします。 ことばを駆使して川柳や広告コピーなどを作ることでことばそのものの持つ面白さを理解します。		第2学期中間考査

期	1 表現の探求 ことばの性質を知る 単語の由来 関係にはたらきかけることば	11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の手段としてのことばについて知識を深め、より正確なことばの使い方ができるようにします。 ・ことばの成り立ちや由来に関する理解を深めます。 ・日常生活の中で使うことばについて理解を深めます。 	第2学期期末考査
	<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 授業の中で使用するプリントやワークシート（全部で10枚程度）</p> <p>2 単元毎の作品</p> <p>【第2学期の評価方法】</p> <p>1 小テストの成績、プリント・ワークシート、その他提出物および活動の内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。</p> <p>2 評価の内訳は、小テストの成績、プリント・ワークシート、その他提出物の評価が70%、活動の内容や学習活動への参加の姿勢や態度が、合わせて30%です。</p>			
第3学期	1 表現の実践三 小論文を書く 小論文生徒作品例と相互評価	1 2 3	<p>論理的な文章の書き方を理解します。</p> <p>1 段落や構成、結論のまとめ方などに気を配りつつ文章を書いていくことに慣れます。 他人に読ませるために、わかる文章が書けるよう心掛けます。</p>	自分の進路と関係づけて小論文を書くようにします。
	<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 授業の中で使用するプリントやワークシート（全部で3枚程度）</p> <p>2 単元毎の作品</p> <p>【第3学期の評価方法】</p> <p>1 小テストの成績、プリント・ワークシート、その他提出物および活動の内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。</p> <p>2 評価の内訳は、小テストの成績、プリント・ワークシート、その他提出物の評価が70%、活動の内容や学習活動への参加の姿勢や態度が、合わせて30%です。</p>			
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>下記の・に示した4つの観点から評価した第1学期の成績、第2学期の成績、第3学期の成績を総合し年間の学習成績とします。</p>				

国語表現では、ことばを使って表現することについて学びます。ことばは読み、書き、話すというすべてがしっかりできなければ正しい表現はできません。いずれかにかたよることなく、誰かとも書くこと

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<p>も話すことも正しくできるように心掛けましょう。</p> <p>表現とは、言い換えれば情報を処理し、伝達することです。身近にあるさまざまな情報を常に意識して生活するようにしましょう。</p> <p>今後の時代においても論理的な文章を書く力はいつそう求められることでしょう。自分の書いたものが他人が読んでわかるものであるかどうかをつねに意識して書くようにしましょう。</p> <p>表現するためには語彙力が必要です。常に語彙を増やすことを心掛けましょう。</p>
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<p>授業中の疑問や、意見などはなるべく仕舞い込まずに発言してみるようにして下さい。そうしたやりとりの中からもいろいろな発見があるはずですよ。</p> <p>発表等はなるべく積極的に参加して下さい。</p> <p>作品を提出するにあたっては、できるだけ授業時間内にベストを尽くし、あまり後に持ち越さないようにしましょう。その場でなくてはできないこともたくさんあります。</p> <p>単元毎の作品は必ず提出するようにして下さい。</p>

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「資料活用の技能・表現」、「知識・理解」の4つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<p>ことばを使った表現の方法について関心を高めているか。</p> <p>意欲的に課題を追求する態度や自分なりの意見を構築しようとする態度を身に付けているか。</p> <p>他人の意見を受容し自分の意見の参考にする姿勢を身に付けているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動への参加の仕方や態度 ・ ワークシートやレポート ・ 単元毎の作品
「思考・判断」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 与えられた課題に対し創意工夫をもって対処することができるか。 ・ 他人の作品に対して自分なりの評価や判断を下すことができるか。 ・ 論理的な思考ができていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートやレポート ・ 授業中での発表 ・ 単元毎の作品
「資料活用の技能・表現」	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな情報の中から自分に必要な事項を的確に取捨選択し要約することができるか。 ・ 自分で考察した内容についての的確に整理して表現できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートやレポート ・ 授業中での発表 ・ 単元毎の作品
「知識・理解」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な国語常識や語彙が身に付いているか。 ・ 表現のために必要な語彙などが身に付いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートやレポート ・ 小テスト

3 担当者からのメッセージ

自分と違う価値観の人間との交わりを拒否するだけではなく、今後の世界を考えれば、自分と違う様々な人たちとうまく付き合っていけなくてはならない事は明らかなはずですよ。ことばは最も基本的な表現の手段であり、それをうまく使いこなすことができれば生きていくための大きな武器になります。ことばで表現する力を養い、これからの自分の未来に役立てて行けるようになりましょう。